

ジャワ古典文化論講義（青山 亨）

ユニット3 2008年10月23日

テーマ：インド的歴史・時間観

参照：<http://www.tufs.ac.jp/blog/ts/g/aoyama/0200/0250/>

ねらい

古代インド人は、この世界（宇宙）の始まり・変化・終わりについて、独特の「歴史・時間」観を作り上げた。ここで「歴史・時間」というのは、現実の出来事の継起という意味ではなく、神々と英雄をめぐる語りにも語られる過去から未来にいたる時空間（time-space）のことである。今週は、東南アジアにも多大な影響を及ぼしたインド的歴史・時間観について、主としてヒンドゥー教の視点から理解をはかる。

1. ヒンドゥー教の神々

- ヴェーダの神々：バラモン教の神々。自然現象の神格化。例：アグニ神（火神）、インドラ神（帝釈天）。
- 叙事詩・プラーナの神々：ヒンドゥー教の神々。民衆信仰に起源。人格神。
- トリムルティ（三位一体）：宇宙の創造・維持・破壊を司る3大神
- ブラフマー（梵天）：宇宙の創造。サラスヴァティー。
- ヴィシュヌ：宇宙の維持。ラクシュミー。
- シヴァ：宇宙の破壊。パールヴァティー（ウマー）。ドゥルガーとも同一視。

2. 宇宙の生成と消滅

- 四つのユガ。1《神》年=360《人》年。1マハー・ユガ=12000年=432万年。
- クリタ・ユガ：正法の時代。4800《神》年。
- トレーター・ユガ：正法の4分の1が欠ける時代。3600《神》年。
- ドヴァーパラ・ユガ：正法が半分欠ける時代。2400《神》年。
- カリ・ユガ：正法の4分の3が欠ける。現代。1200《神》年。

3. 仏教とヒンドゥー教の宇宙の違い

- 仏教：創造主なし。「衆生」の「業」によって生成・消滅。
- ヒンドゥー教：宇宙は神によって創造・維持・破壊される。

4. アヴァターラ：ヴィシュヌ神の10の化身

- 魚（クリタ・ユガ）
- 亀（クリタ・ユガ）
- 猪：ヒラニヤークシャ。（クリタ・ユガ）
- 人獅子：ヒラニヤカシプ。（クリタ・ユガ）
- 矮人（こびと）：バリ。（トレーター・ユガ）
- パラシュ・ラーマ（斧を持つラーマ）（トレーター・ユガ）
- チャンドラ・ラーマ：ラーマヤナ（トレーター・ユガ）
- クリシュナ：マハーバーラタ（ドヴァーパラ・ユガ）
- ブッダ（カリ・ユガ）
- カルキ（カリ・ユガ）

参考図書：今回の講義のテーマに関わるもの

1. 定方 晟. 1985. 『インド宇宙誌』春秋社.
2. 長谷川 明. 『インド神話入門』（とんぼの本）新潮社.
1はインドのヒンドゥー教における世界観を取り上げている。

ジャワ古典文化論講義（青山 亨）

ユニット4 2007年10月23日

テーマ：テキストと「物語」の関係、クリタ・ユガの時代

参照：<http://www.tufs.ac.jp/blog/ts/g/aoyama/0200/0250/>

ねらい：この世界が存在する時間は、クリタ・ユガ、トレーター・ユガ、ドヴァーパラ・ユガ、カリ・ユガの4時代に分けられる。この講義では、テキストと「物語」の関係について理解したのち、東南アジアにおけるテキストと「物語」の関係、そして、クリタ・ユガの時代の「出来事」について学ぶ。

1. テキストと「物語」

- ナラティブ（narrative、ものがたり）：
 - ◇ 語り手、聞き手、テキスト、コンテキスト、ストーリー（メッセージ）
- ストーリー：
 - ◇ 時空間（time-space）、人物（character）、行為（act）、出来事（event）
 - ◇ 時空間としてのユガ、ジャンブドヴィーパ
- インドのテキスト：
 - ◇ シュルティ（天啓文献）：ヴェーダ、口承
 - ◇ スムルティ（記憶文献）：叙事詩（ラーマヤナ、マハーバーラタ）、プラーナ、創唱者
 - ◇ 古層のテキストから新層のテキストへの進化：物語の整理・統合
 - ◇ ルドラ→シヴァ、ブラフマン→ブラフマー、ヴィシュヌ→10のアヴァターラ

2. 東南アジアのテキストとインドの「物語」

- テキストの形態：二次的なテキスト
 - ◇ 翻訳テキスト、翻案テキスト、浮き彫り、彫刻、演劇
- インド世界と東南アジア世界を結びつける「物語」的仕掛け
 - ◇ 転生、予言
 - ◇ 「言葉の力」：マントラ（呪文）、予言、呪い

3. クリタ・ユガの「出来事」

- 宇宙の中心としてのメール山：アンコールワット、バリ・ヒンドゥー寺院、マスジッド
- 乳海攪拌とアムリタ：アンコールワット、バリ
- ガルダとナーガ：ジャワ、タイ
- ガネーシャの誕生：死と再生

参考図書：今回の講義のテーマに関わるもの

青山 亨. 1994. 「叙事詩, 年代記, 予言: 古典ジャワ文学にみられる伝統的歴史観」. 『東南アジア研究』32(1):34-65.

東南アジアのテキストとインドの「物語」の結びつけ方の分析.

上村勝彦. 2003. 『インド神話—マハーバーラタの神々』(ちくま学芸文庫)筑摩書房.

インド神話についての信頼できる入門書.